

素適をプラス 一步先の住環境



東北初LCCM住宅

■企業理念をお聞かせください。

「お客様の素適な住まいづくりを心を含めて応援する企業を目指します」というものです。

■LCCM住宅最高ランク認定とはどういうものですか？

2012年7月に栃木県宇都宮市、2013年2月に宮城県仙台市で建築した新築一戸建住宅において、一般財団法人建築環境・省エネルギー機構の「LCCM（ライフサイクルカーボンマイナス）住宅」の最高ランク「☆☆☆☆」の認定を取得しました。それぞれ、東日本、東北地方初の試みとなります。

■LCCM住宅とは？

低炭素社会の実現に向け、国土交通省・経済産業省・環境省が進めているもので、住宅建設から居住・廃棄に至る迄の一生のCO₂排出量を従来の50%以下迄に抑えられる住宅が「☆☆☆☆」、0%以下を実現できる住宅が「☆☆☆☆」に認定されます。一次エネルギーを、家庭の太陽光発電システム等でつくる「ZEH（ゼロ・エネルギーハウス）の一步先をいく「未来基準の住宅」と言えます。

■復興応援型住宅とは？

今回、東北初となる「LCCM住宅☆☆☆☆」認定を取得したのは、国が定める「長期優良住宅」の基準以上となる住宅性能表示制度の耐震等級、省エネルギー対策等級、維持管理対策等級、劣化対策等級について、最高レベルを基本性能とする復興応援型住宅「フェニチエホーム」がベースです。「フェニチエホーム」とは、弊社が開発した、一戸建住宅商品「パワーホーム Super High Quality & Good Price」をもとに、2011年より展開している復興応援型住宅で、高い基本性能の確保を前提とし、被災者の住宅ニーズを追求した規格型住宅です。又、寒冷地も考慮し、住宅性能表示基準における温熱環境に関する省エネルギー対策等級4、更に山間部を除く青森県、岩手県、秋田県などの寒冷地が該当する断熱地域区分II地域における次世代省エネルギー基準を満たし、室内環境の快適性、冷暖房のエネルギー消費の大幅低減等、高基本性能を有する住宅です。結果、基本性能に以下の工夫を加えるだけで「☆☆☆☆」認定を取得出来ました。

■フェニチエホームの基本性能に加えた工夫とは？

①太陽光発電システム（10キロワット）②自然冷媒ヒートポンプ給湯機（エコキュート）③LED照明④高効率エアコン⑤太陽光発電量の表示が出来るインターホン⑥リサイクル材によるレンガチップのエクステリアです。

■CASBEEについて

CASBEE（建築環境総合性能評価システム）とは、国土交通省が主導して建築物の環境配慮性や、快適性などを総合的に格付けするシステムです。2011年6月に横浜市鶴見区北寺尾の一戸建分譲地において、一般財団法人建築環境・省エネルギー機構より「CASBEEすまい「戸建」」の最高ランク認定を国内初となる分譲地全て（8棟）で取得、2012年10月に横浜市鶴見区東寺尾で供給した「パワーホーム」において「CASBEE横浜「戸建」」制度初の届け出を行い、5段階の建築物環境効率Sランク（★★★★★、素晴らし）の評価となった実績があります。これは「パワーホーム」の標準仕様に高効率給湯器や太陽光発電パネル等を設置する事で、最高ランクの

高性能と高品質に ナイスが目指す



横浜市初認定低炭素住宅

評価となりました。今回横浜市で建設した「パワーホーム」は、特別な設備を加えず標準仕様のままで「C A S B E E横浜「戸建」Aランク(★☆☆★、大変良い)」の評価結果となりました。今後はその結果を、当社の住まい情報サイト (<http://www.house.jp/>) や広告で開示する等、環境負荷低減住まいづくりを積極的に推進して参ります。

■低炭素建築物の認定の取得
今年10月1日、建物の省エネ基準が14年ぶりに改正され、2020年迄に全ての新築建物において適合が義務化される予定です。新基準普及に向け、施工に先駆け2012年12月4日、「低炭素建築物新築等計画の認定制度(低炭素建築物認定制度)」がスタートしました。

「低炭素建築物」の認定を取得する為には一次エネルギー消費量が新省エネ基準から10%削減される事が求められ、更に①節水機器②雨水や雑排水等の利用の為の設備③H E M S (ホーム・エネルギー・マネジメント・システム) ④再生可能エネルギー及びそれと連携した蓄電池等の設置⑤ヒートアイランド対策⑥住宅の劣化軽減に資する措置⑦木造住宅

⑧高炉セメント等の内、いずれか2つを満たす必要がありますが、8項目の内、木造住宅である事は勿論、節水機器の設置や住宅の劣化軽減に資する措置等も既に基本性能でクリアしています。「パワーホーム」は基本性能が非常に高いので、横浜市では1月16日に、大田区では1月30日に、夫々地域初となる「低炭素建築物」の認定を取得しました。これから2棟では、玄関や廊下、トイレ等の基礎照明を白熱球から蛍光球に、従来の喚気設備をより高効率な商品に変更し、ほんの少しの工夫を加えるだけで認定を取得出来ました。

■パワーホームとは？
「30歳までに持てる一戸建住宅」をコンセプトに、高品質でグッドプライスを実現した商品です。「耐震等級(倒壊防止・損傷防止)」「省エネルギー対策等級」で最高ランクの基準を満たし、国の「長期優良住宅」の認定基準を超える基本性能を備えています。住宅性能については、全体のバランスを保ちながら長期優良住宅の認定基準を超える性能とする事で、環境性能を高めています。又、施工段階での合理化を図り、環境負荷の軽減に貢献しています。そして、



パワーホーム

「木材」が持つ環境性能にも注目しています。木は、光合成によりCO₂をたっぷり吸収して成長し、吸収されたC(炭素)は伐採されてからもずっと蓄積され続けます。更に、バイオマス燃料として活用される等、リサイクル率が高いエコロジー素材であり、製造時のエネルギーが極端に少ない事も大きな特長です。地球環境への関心が高まる中で、今後も消費者のニーズに対応した、より高品質かつ高性能な商品の開発を目指し、「パワーホーム」のブラッシュアップを図っていきます。

ナイス株式会社 経営推進本部広報室
神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央4-33-1
ナイスビル8階